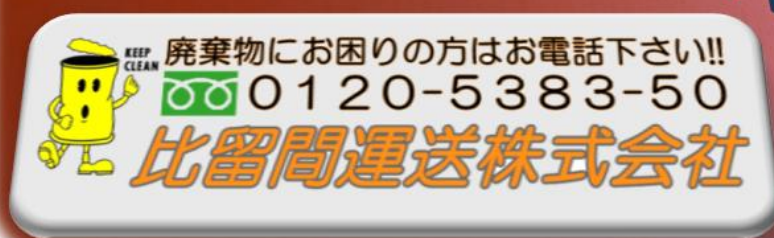


2025年度 環境経営レポート

対象期間

【2025年4月～2026年3月】



発行日：2026年6月30日

比留間運送株式会社

比留間運送株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 許可内容一覧	2～3
3. 車両一覧	4
4. 処理工程	5～7
5. 設備処理能力	8
6. 対象期間（認証・登録の対象組織）	9
7. 組織図と実施体制	10
8. 環境経営方針	11
9. 環境経営目標一覧	12
10. 環境経営計画一覧	13
11. 環境経営目標実績	14～15
12. 環境負荷量の実績	16
13. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	17～19
14. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	20
15. 代表者による全体評価と見直しの結果	21

1. 組織の概要

(1) 社名及び代表者名

比留間運送株式会社
代表取締役 比留間 宏明

(2) 所在地

【本 社】 東京都武蔵村山市中央2-18-3
【瑞穂車両基地】 東京都西多摩郡瑞穂町富士山栗原新田237-1
【伊奈平工場】 東京都武蔵村山市伊奈平3-25-5
【入間工場】 埼玉県入間市狭山台3-7-1
【瑞穂積替保管施設】 東京都西多摩郡瑞穂町富士山栗原新田237-1
【あきる野積替保管施設】 東京都あきる野市二宮375-1

(3) 事業内容

一般貨物運送業
一般廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）
産業廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）
解体工事業
第一種フロン回収事業

(4) 事業の規模

創 業：昭和28年10月1日
資本金：1,180万円
年 商：2,806百万円（2025年4月～2026年3月）

	本社	車両基地	伊奈平工場 (解体部門含む)	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保
従業員数(名)	37	27	23	5	4	2
敷地面積(m ²)	1422.56	2975.34	8328.26	2944.67	2891.00	1654.00
中間処理施設保管面積(m ²)			1920.55	763.90		
積替保管施設保管面積(m ²)			62.04		1140.70	444.56
積替保管施設保管上限量(m ³)			51.20		1420.40	824.50
産廃中間処理量(t)			29502.74	6773.32		
一廃中間処理量(t)			6837.21	382.92		
産廃収集運搬量(t)		9153.86				
事業系一廃収集運搬量(t)						
家庭系一廃収集運搬量(t)	10942.45					
工事件数(件)			13			

(5) 環境経営責任者及び事務局

環境経営責任者：天沼 智弘
環境経営事務局：藤井 啓之

ネット公開用
比留間運送株式会社

2. 許可内容一覧

(1) 産業廃棄物許可一覧

自治体名	許可年月日 許可期限	許可番号	業の区分	産業廃棄物の種類																						
				燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	動物系固形不要物	十三号廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	水銀含有ばいじん等
東京都	令和03年12月20日 令和10年12月19日	第13-20-016103号	㊟ 中間処理	-	※ ²	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	※ ³	-
	令和05年12月20日 令和12年12月19日	第13-10-016103号	㊟ 収集運搬 (積替保管含む)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎
埼玉県	令和05年06月21日 令和12年03月28日	01120016103	㊟ 中間処理	-	※ ²	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和02年10月02日 令和09年08月09日	01102016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※ ¹	-	○	※ ³	-
群馬県	令和05年06月10日 令和12年06月09日	01000016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	※ ³	※ ³
神奈川県	令和06年01月12日 令和12年08月18日	01402016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※ ³	○
新潟県	令和05年11月13日 令和12年10月03日	01509016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
山梨県	令和05年10月30日 令和12年10月29日	01900016103号	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-
岐阜県	令和02年02月26日 令和09年02月25日	02100016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-
山口県	令和02年10月23日 令和09年10月22日	第03500016103号	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-
茨城県	令和02年11月05日 令和09年08月17日	00801016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	※ ³	-
千葉県	令和04年09月12日 令和11年08月21日	第01200016103号	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	※ ³	※ ³
栃木県	令和05年04月11日 令和12年04月10日	00900016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	※ ³	※ ³
岩手県	令和05年11月09日 令和12年11月08日	00300016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-
宮城県	令和05年01月16日 令和12年12月12日	00400016103	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県	令和01年10月11日 令和08年08月17日	第00707016103号	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-	-	○	○	○
静岡県	令和03年07月20日 令和10年07月19日	第02201016103号	㊟ 収集運搬 (積替保管除く)	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	○	※ ³	-

自治体名	許可年月日 許可期限	許可番号	業の区分	特別管理産業廃棄物の種類						
				廃油	廃酸	廃アルカリ	特定有害産業廃棄物			
							廃ポリ塩化ビフェニル汚染物	ポリ塩化ビフェニル処理物	廃水銀等	金属等を含む廃棄物
東京都	令和07年07月26日 令和14年07月25日	第13-60-016103号	㊟ 特管収運 (積替保管含む)	○	◎	◎	○	○	○	○
神奈川県	令和04年07月27日 令和11年04月10日	01450016103	㊟ 特管収運 (積替保管除く)	○	○	○	○	○	○	○

◎：積替保管を含む ○：積替保管を含まない

※1：埼玉県の動物系固形不要物は許可不要 ※2 汚泥は有機性のものに限る ※3 品目指定有の水銀使用製品産業廃棄物
石綿含有産業廃棄物：廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
水銀含有ばいじん等：燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ばいじん
PCB 廃棄物は低濃度 PCB に限る

(2) 一般廃棄物許可一覧

自治体名	許可年月日 許可期限	許可番号	業の区分	許可品目
東京都	武蔵村山市 令和07年07月01日 令和09年06月30日	第1号	処分	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、廃蛍光灯、生ごみ、汚泥（有機性のものに限り）、空き缶、空き瓶
	武蔵村山市 令和07年04月01日 令和09年03月31日	第4号	収集運搬 (積替保管含む)	事業系一般廃棄物、家庭系臨時多量ごみ、特定家庭用機器再商品化法対象物
	小平市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第9号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
	東大和市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第7号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
	八王子市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第90号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物（厨芥、木くず、紙くず）
	西東京市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第8-24号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
	東久留米市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第14号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
	羽村市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第13号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物 可燃ごみ（紙くず、木くず、厨芥）
	昭島市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第326007号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、厨芥）
	国立市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第26号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物、家庭系一時多量ごみ等、特定家庭用機器廃棄物
	小金井市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第125号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物（ごみ）
	東村山市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第10号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物（ごみ）
	日野市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第44号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、厨芥）
	立川市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第21号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物及び武蔵村山市内から排出された特定家庭用機器廃棄物
	西多摩郡 瑞穂町 令和08年06月22日 令和10年06月21日	第12・2号	収集運搬 (積替保管除く)	一般廃棄物（紙くず、木くず、厨芥）
	調布市 令和06年08月05日 令和08年08月04日	第53号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系可燃性一般廃棄物
	西多摩郡 日の出町 令和06年10月01日 令和08年09月30日	第7358号	収集運搬 (積替保管除く)	紙くず、木くず
	清瀬市 令和07年04月01日 令和09年03月31日	第2号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、厨芥類）
	あきる野市 令和07年04月01日 令和09年03月31日	第252号	収集運搬 (積替保管含む)	事業系一般廃棄物（可燃ごみ、不燃ごみ、食品残さ）
	国分寺市 令和07年09月01日 令和09年08月31日	第25号	収集運搬 (積替保管除く)	可燃ごみ、不燃ごみ
	福生市 令和07年09月01日 令和09年08月31日	第705号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物
	青梅市 令和07年10月01日 令和09年09月30日	第23号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、厨芥、プラスチック、金属くず、ガラスくず）
	府中市 令和07年10月20日 令和09年10月19日	第10号	収集運搬 (積替保管除く)	事業系一般廃棄物（可燃ごみ）
	檜原村 令和07年03月01日 令和09年02月28日	第1号	収集運搬 (積替保管除く)	可燃（プラスチック類、生ごみ、木質ごみ等）、資源
埼玉県	入間市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第1号	処分	生ごみ、木くず
	入間市 令和08年04月01日 令和10年03月31日	第12号	収集運搬 (積替保管除く)	ごみ（特定家庭用機器廃棄物を除く）
	寄居町 令和08年03月01日 令和10年02月29日	第B2603BU004号	運搬 (荷卸しに限る)	生活系ごみ（処理できないごみ：その他のごみ）、事業系ごみ（資源ごみ：紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、焼却灰）

(3) その他許可一覧

許可名称	業の区分	許可番号	許可等の期限
産廃エキスパート	収集運搬	7-25-B0058	令和11年03月31日
産廃エキスパート	中間処理	7-25-C0068	令和11年03月31日
エコアクション21	—	009047	令和09年01月16日
安全性優良事業所認定証（Gマーク）	—	2592662	令和10年12月31日
再生事業者登録	再生	第139号	—
一般建設業許可	建設業	30都市建第224号	令和10年06月09日
第一種フロン回収業登録	フロン回収	19環都配 第144号	令和09年07月14日

3. 車両一覧



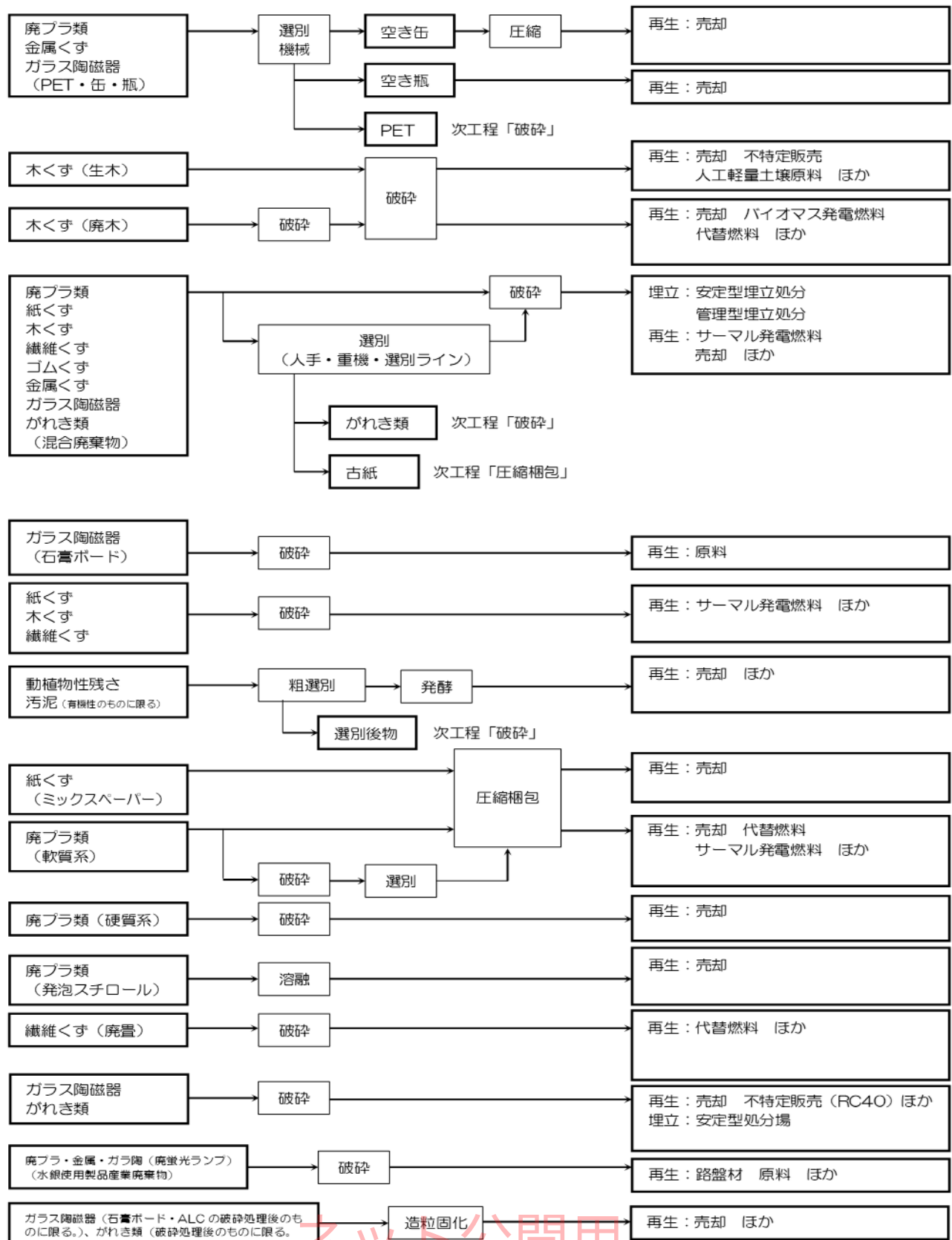
全保有台数	54 台
-------	------

車種	台数	内訳
フルトレーラー	2台	フルトレーラー：2台
コンテナ車	15台	大型：2台 / 8t：4台 / 4t：7台 / 3t：2台
ダンプ車	2台	大型：1台 / 2t：1台
塵芥車	26台	8t：1台 / 4t：1台 / 3t：22台 / 2t：2台
平ボディ車	7台	大型：1台 / 4t：1台 / 3t：1台 / 2t：2台 / 軽：2台
ユニック車	1台	3t：1台
商用車	1台	軽：1台

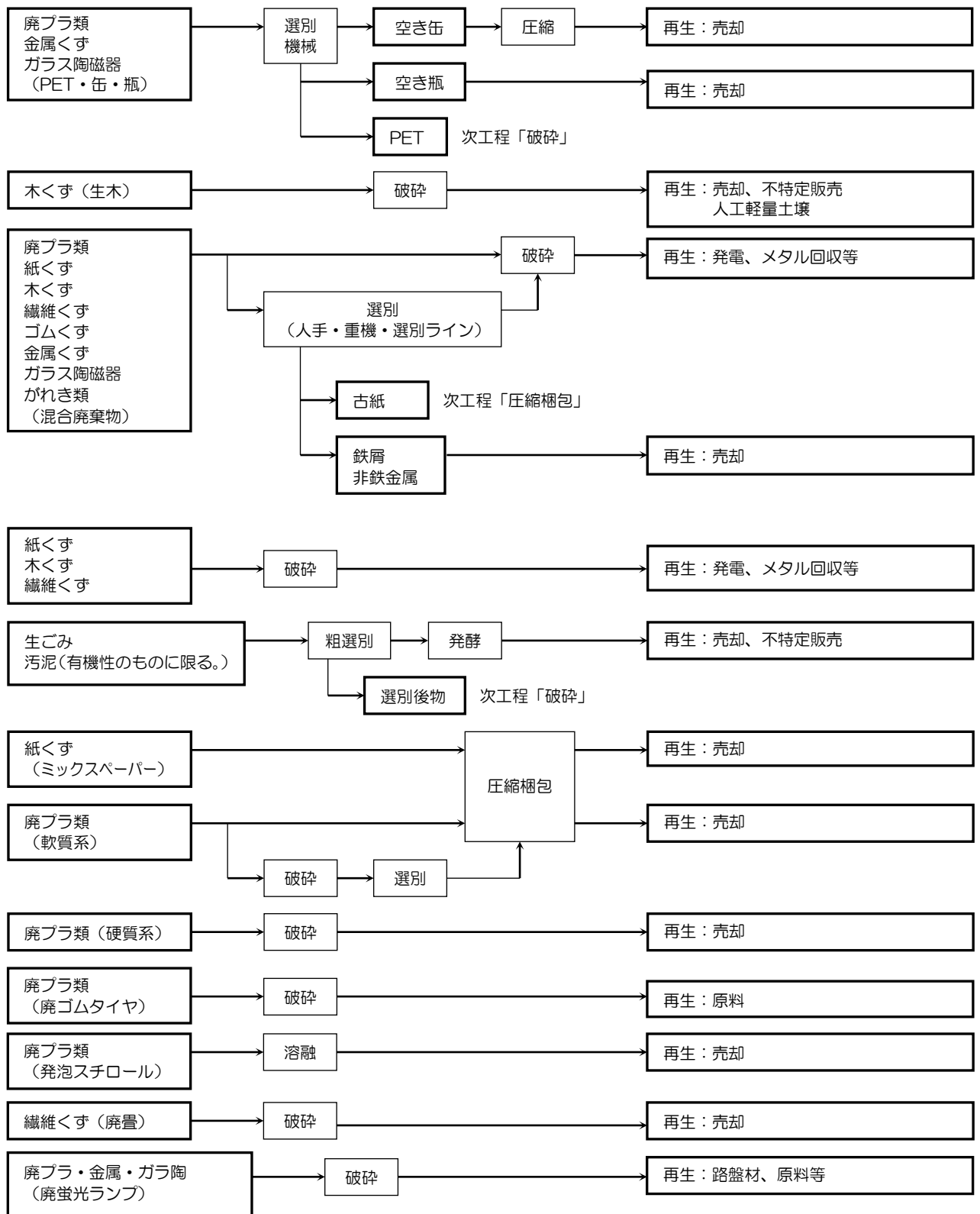


4. 処理工程

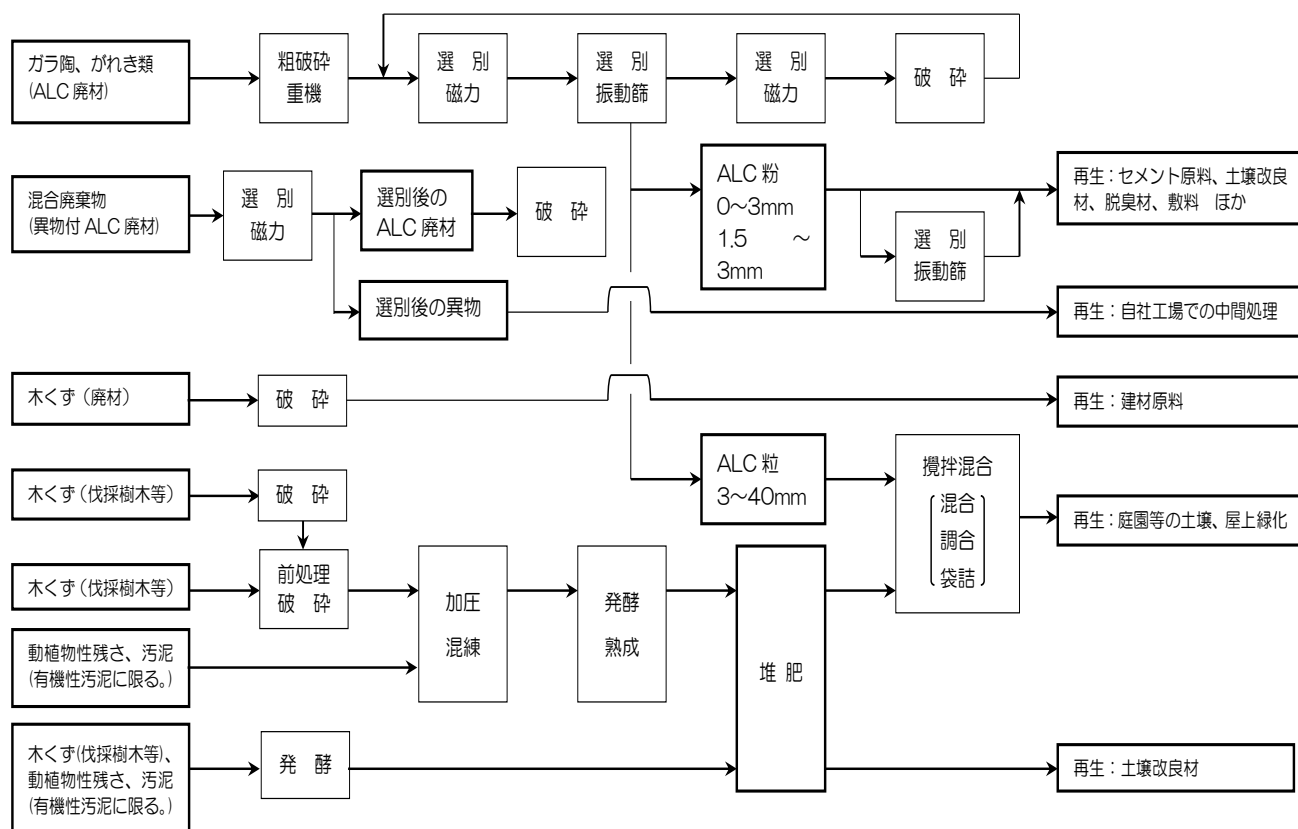
産業廃棄物処理フロー図（伊奈平工場）



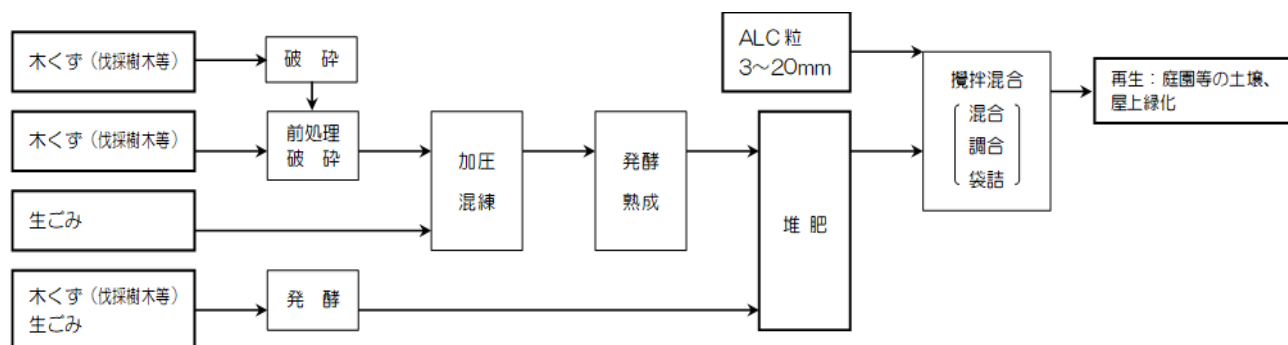
一般廃棄物処理フロー図（伊奈平工場）



産業廃棄物処理フロー図（入間工場）



一般廃棄物処理フロー図（入間工場）



※ 瑞穂積替保管施設・あきる野積替保管施設では、受け入れた産業廃棄物の選別、中間処理前の一次処理施設として伊奈平工場のリサイクル率アップに貢献しております。また、石綿含有産業廃棄物の受入施設としてその保管と契約最終処分場への運搬を行っております。

5. 設備処理能力一覧

施設種類		許可品目		処理能力
伊奈平工場	圧縮	産廃	金属くず	4.30 t / 日
		一廃	空き缶	
	破砕	産廃 一廃	木くず	17.10 t / 日
	破砕	産廃 一廃	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、ゴムくず	53.50 t / 日
	焼却炉	産廃	紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ	4.80 t / 日
		一廃	紙くず、木くず、繊維くず、生ごみ	
	発酵	産廃	動植物性残さ、汚泥（有機性のものに限る）	3.50 t / 日
		一廃	生ごみ、汚泥（有機性のものに限る）	
	破砕	産廃 一廃	廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）	2.80 t / 日
	圧縮・梱包	産廃	廃プラスチック類	180.00 t / 日
		一廃	紙くず	166.80 t / 日
	破砕	産廃 一廃	廃プラスチック類	6.30 t / 日
	溶融	産廃 一廃	廃プラスチック類	2.40 t / 日
	破砕	産廃	廃プラスチック類	48.00 t / 日
		一廃	繊維くず	32.10 t / 日
	圧縮・梱包	産廃	廃プラスチック類	24.30 t / 日
		一廃	繊維くず	17.20 t / 日
入間工場	破砕	産廃	廃プラスチック類	44.70 t / 日
		一廃	繊維くず	32.30 t / 日
	圧縮	産廃	金属くず	10.20 t / 日
		一廃	空き缶	
	破砕	産廃	ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	480.00 t / 日
	破砕	産廃	木くず	186.40 t / 日
	造粒固化	産廃	ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	6.10 t / 日
	破砕	産廃	ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、がれき類	360.00 t / 日
	加圧混練・発酵	産廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	5.84 t / 日
		一廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t / 日
		一廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t / 日
		一廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t / 日
		一廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	発酵	産廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、動植物性残さ	3.51 t / 日
		一廃	木くず（破砕後伐採樹木に限る）、生ごみ	
	破砕	産廃 一廃	木くず	9.52 t / 日
	破砕	産廃	ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず、がれき類	169.60 t / 日

6. 対象期間（認証・登録の対象組織）

（１）登録組織名：比留間運送株式会社

（２）対象事業所：本社

伊奈平工場

入間工場

瑞穂積替保管施設・車両基地

あきる野積替保管施設

（３）対象とする活動：一般貨物運送業

一般廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）

産業廃棄物 収集運搬業・処分業（中間処理）

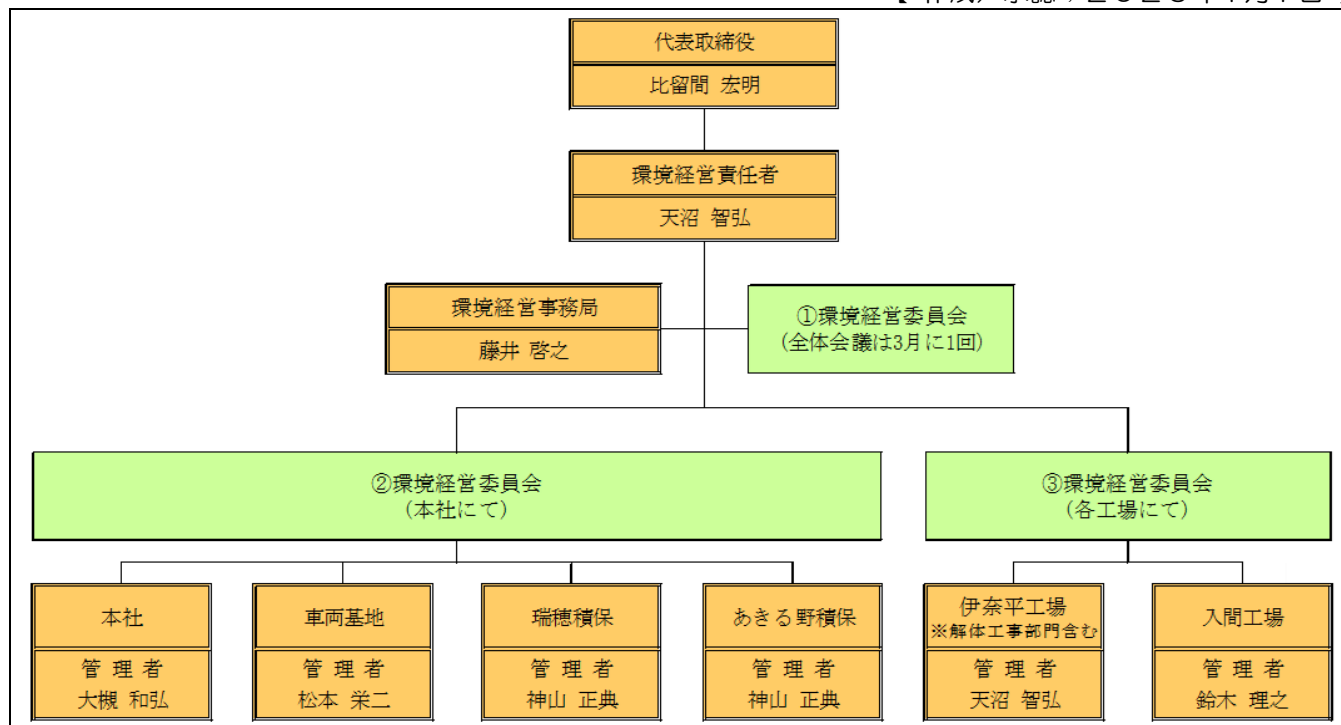
解体工事事業

第一種フロン回収事業



7. 組織図と実施体制

【 作成／承認：2026年1月7日 】



組織体制	主要な業務
代表取締役	【 比留間運送株式会社の環境マネジメントシステムに関する最高責任者 】 - 環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供をする。 - 経営における課題とチャンスの明確化をする。 - 環境経営方針を決定する。 - 環境経営責任者を任命し、環境経営委員会を通じて当社従業員全体に伝達する。 - 環境経営目標、環境経営活動、環境経営活動レポートを承認する。 - エコアクション21の全体の評価と見直しを実施する。
環境経営責任者	【 環境経営システムに関する管理責任者 】 - 環境経営システムの要求事項を確立し、実施し、且つ維持する。 - 実施計画とその実績フォローシートを承認する。 - 環境経営システムの実績、運用状況を社長へ報告する。 - 環境経営方針策定の補佐、又は環境経営方針を周知する。 - 環境負荷の自己チェックと取組項目の自己チェックを承認する。 - 法規制等の調査、特定及び法規制一覧を承認する。 - 環境経営委員会の議長を担当する。 - 教育計画を承認し、実施する。 - 内部、外部とのコミュニケーションに対応する。
環境経営委員会	- 環境経営方針、環境経営目標、実施計画等の環境経営システムに関する事項を審議する。 - 毎月サイトごとに実施、3月ごとに全体会議とする（上表組織図を参照）
環境経営事務局	- 環境経営委員が個々に立たした役割成果を取りまとめる。 - 定期的に環境負荷の自己チェックと取組項目の自己チェックの実施支援をする。 - 法規制等の調査、特定及び法規制一覧を作成、取りまとめる。 - 環境経営レポート原案を作成する。 - 文書管理（配付、原本）を行う。
各部門長	- 各部門の環境経営計画を立て実施する。 - 自部門に必要な環境経営計画及び法規制、運用手順の教育をおこなう。 - 定期的に環境負荷の自己チェックと取組項目の自己チェックを実施する。

環境経営方針

《基本理念》

比留間運送株式会社は、「狭山丘陵と多摩川を擁した自然豊かなこの地の環境」を、そして広くは「かけがえのない地球環境」を健全な姿で後世に継承することが、人類の共通課題のひとつとして認識し、「ゼロ・エミッションへの限らない挑戦による、人と自然の最も理想的な関係の追求」を基本理念とします。

《基本方針》

比留間運送株式会社は廃棄物処理事業及びリサイクル事業が主体であることを踏まえて、以下の具体的な事項に基づき、当社すべての従業員による環境活動の推進、ならびに循環型社会の構築とその啓蒙活動を通じ、地域に密着したクリーン企業として地球環境と企業活動の調和を目指します。

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- 1) 電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します。
- 2) 水の使用量を低減します。
- 3) 化学物質の管理を徹底します。
- 4) 本業に関する環境配慮活動を行います。
- 5) 廃棄物の排出量を削減します。
- 6) 再資源化率の向上を目指し、地域密着型の資源循環活動を推進します。

これらについて環境経営目標及び環境経営活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。

3. この環境経営方針は全従業員に周知徹底します。

4. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめて公表します。

比留間運送株式会社

代表取締役 比留間 宏明

制 定：平成 11 年 02 月 26 日

改定 8：令和 08 年 01 月 07 日

9. 環境経営目標一覧



本社



車両基地



伊奈平工場



入間工場



瑞穂積保



あきる野積保

全事業所

環境経営目標	単位	【基準年】 2024年度 実績値	2025年度	2026年度	2027年度
電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します（注1）					
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,865,553	1,846,905	1,828,441	1,810,162
購入電力	kwh	1,301,755	1,288,737	1,275,850	1,263,092
LPG	kg	173	158	158	158
軽油	ℓ	500,694	495,687	490,730	485,823
ガソリン	ℓ	—	1,312	1,299	1,286
水の使用量を低減します					
上水	m ³	2,845	2,817	2,788	2,761
地下水	m ³	318	360	360	360
化学物質の管理を徹底します（注2）					
ダイオキシン類濃度の自主基準値の維持(年/1回自社測定) ※法基準値：10ng-TEQ/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	—	5	5	5
本業に関する環境配慮活動を行います					
設備・重機・車両の突発的故障件数を低減する	件	10	18件以内	18件以内	18件以内
作業効率向上の改善事例件数	件	33	24件以上	24件以上	24件以上
製品の出荷先からのクレーム件数0件を維持する	件	0	0	0	0
廃棄物の排出量を削減します（注3）					
事業所から出る廃棄物排出量を削減する	kg	2,720	2,880	2,880	2,880
再資源化率の向上を目指し、地域密着型の資源循環活動を推進します（注4）（注5）					
中間処理後の産業廃棄物リサイクル率	%	93.94	90	90	90
解体工事に伴う廃棄物再資源化率	%	93.97	90	90	90

（注1） 購入電力のCO₂排出係数は、東京電力の0.438kg-CO₂/kWh（2022年度実績（2023年12月22日公表））を用いて、3年間固定して算定している。

（注2） 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

（注3） 事務所から排出された一般廃棄物は、全量再生利用。

（注4） 中間処理後の産業廃棄物リサイクル率は、処理後の搬出した量の最終所分場行きと再生利用行きの割合で算出。

（注5） 解体工事に伴う廃棄物再資源化率は、再資源化量と最終処分量の割合で算出。

10. 環境経営計画一覧

【 取組期間：2025年4月～2026年3月 】

環境経営目標	環境経営計画の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門	進捗管理 及び記録
		大槻	松本	天沼	鈴木	神山	神山	天沼	
電気使用量の削減	照明の不必要な時・箇所を消灯	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
	空調の適温化	●	●	●	●	●	●		
	OA機器の不必要な時の電源OFF	●	●	●	●	●	●		
	設備の空運転の防止			●	●				
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●		教育記録
燃料使用量の削減	重機・車両のアイドリングストップ	●	●	●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	積込作業時のアイドリングストップ	●	●						
	バックカー車の無駄まき抑制	●	●						
	急発進・急停車の抑制	●	●						
	前年度の車両燃費データと比べた分析	●	●						
	環境負荷低減の教育・エコ運転の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
水使用量の削減	散水時の節水			●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	洗車時の節水	●	●	●	●	●	●		
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
化学物質の管理 (注1)	自主基準値5ng-TEQ/㎡Nを維持			●					実施計画と実績 フォローシート
本業に関する 環境配慮活動	製品の状態の確認			●	●				
	製品納品先からのクレーム発生件数の0 件維持			●	●				
	設備・重機・車両の突発的故障を低減す る	●	●	●	●	●	●		
	設備・重機・車両の日常・定期点検の実 施	●	●	●	●	●	●		
	各事業所、決められた目標件数以上の業 務改善を行う	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
廃棄物排出量の削減	各事業所、決められた目標値以下のごみ の排出量を維持・削減	●	●	●	●	●	●		
再資源化率の向上	中間処理後の産業廃棄物リサイクル率 90%以上の達成			●					
	リサイクル出来る廃棄物の選別状況の確 認			●		●	●	●	
	積込作業時のリサイクル出来る廃棄物の 仕分積込状況の確認		●						
	解体工事に伴う廃棄物再資源化率90% 以上を維持							●	

(注 1) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

※●は、環境活動の取組の実施を示す。

11. 環境経営目標の実績



本社



車両基地



伊奈平工場



入間工場



瑞穂積保

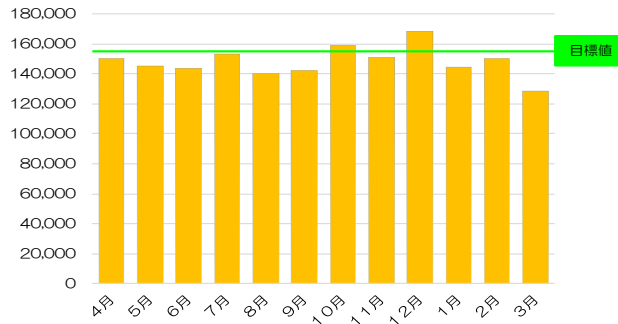


あきる野積保

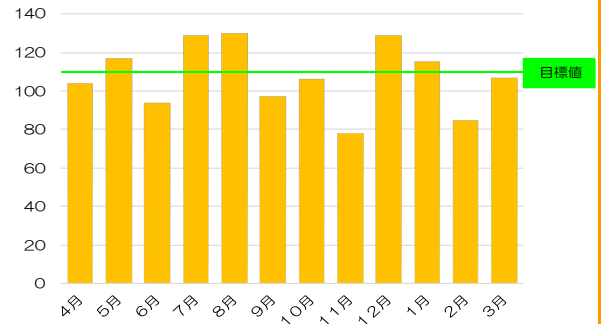
全事業所

環境経営目標	単位	2025年度 目標値	2025年度 実績値	評価	
電気・燃料等のエネルギー使用量を低減します（注1）					
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,846,905	1,778,498	○	-68,407
購入電力	kwh	1,288,737	1,269,947	○	-18,790
LPG	kg	158.0	173.5	×	15.5
軽油	ℓ	495,687	472,382	○	-23,305
ガソリン	ℓ	1,312	1,291	○	-21
水の使用量を低減します					
上水	m ³	2,817	3,128	×	311
地下水	m ³	360	322	○	-38
化学物質の管理を徹底します（注2）					
ダイオキシン類濃度の自主基準値の維持(年/1回自社測定) ※法基準値：10ng-TEQ/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	5	—	焼却施設休止中の為 測定未実施	
本業に関する環境配慮活動を行う					
設備・重機・車両の突発的故障件数を低減する	件	18件以内	8	○	
作業効率向上の改善事例件数	件	24件以上	29	○	
製品の出荷先からのクレーム件数0件を維持する	件	0	0	○	
廃棄物の排出量を削減します（注3）					
事業所から出る廃棄物排出量を削減する	kg	2,880	2,741	○	-139
再資源化率の向上を目指し、地域密着型の資源循環活動を推進します（注4）（注5）					
中間処理後の産業廃棄物リサイクル率	%	90.00	94.63	○	
解体工事に伴う廃棄物再資源化率	%	90.00	92.71	○	

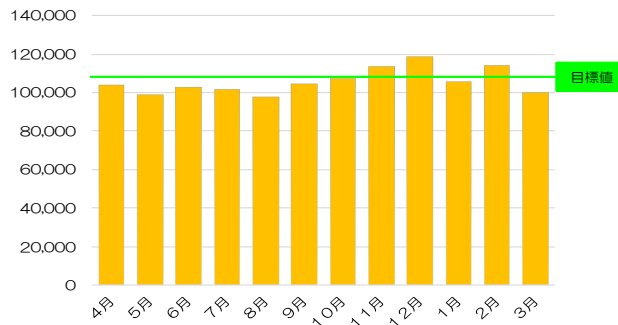
二酸化炭素排出量



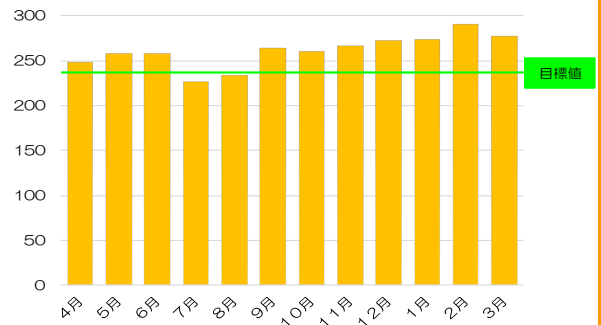
ガソリン使用量



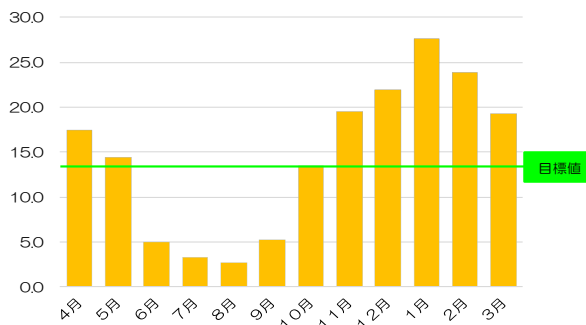
電力使用量



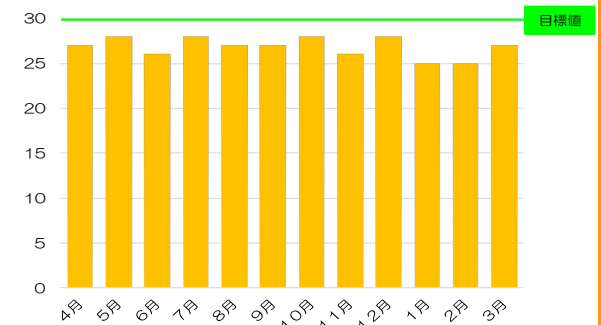
水道水使用量



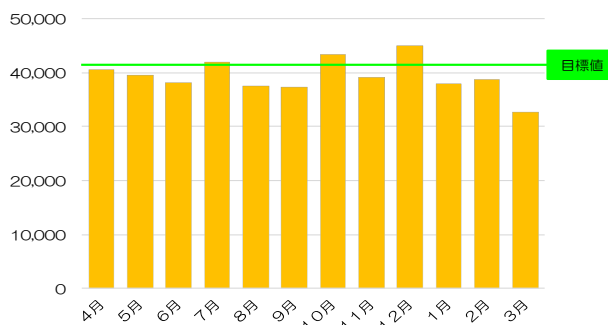
LPG使用量



地下水使用量



軽油使用量



- (注1) 購入電力のCO₂排出係数は、東京電力の0.438kg-CO₂/kWh(2023年12月22日公表)を用いた。
 (注2) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。
 (注3) 事務所から排出された一般廃棄物は、全量再生利用。
 (注4) 中間処理後の産業廃棄物リサイクル率は、処理後の搬出した量の最終所分場行きと再生利用行きの割合で算出。
 (注5) 解体工事に伴う廃棄物再資源化率は、再資源化量と最終処分量の割合で算出。

12. 環境負荷量の実績



	全事業所	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積替 保管施設	あきる野積 替保管施設	解体部門
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) 【注1】	1,778,498	148,968	639,466	686,284	244,528	30,595	16,414	12,245
割合 (%)	100.0%	8.4%	36.0%	38.6%	13.7%	1.7%	0.9%	0.7%
電力使用量 (kWh)	1,269,947	33,817	23,085	760,754	435,083	8,538	8,670	—
割合 (%)	100.0%	2.7%	1.8%	59.9%	34.3%	0.7%	0.7%	0.0%
LPG使用量 (kg)	173.5	73.5	11.0	75.9	13.1	—	—	—
割合 (%)	100.0%	42.4%	6.3%	43.7%	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%
軽油使用量 (ℓ)	472,382	50,752	243,923	136,762	20,900	10,409	4,890	4,746
割合 (%)	100.0%	10.7%	51.6%	29.0%	4.4%	2.2%	1.0%	1.0%
ガソリン使用量 (ℓ)	1,291	1,291	—	—	—	—	—	—
割合 (%)	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
水道水使用量 (m ³)	3,128	698	1,046	652	655	—	77	—
割合 (%)	100.0%	22.3%	33.4%	20.8%	20.9%	0.0%	2.5%	0.0%
地下水使用量 (m ³)	322.00	—	—	322.00	—	—	—	—
割合 (%)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中間処理後における 産業廃棄物 最終処分場搬出量 (t)	1,706.83	—	—	1,706.83	—	—	—	—
割合 (%)	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
解体工事に伴う 産業廃棄物 最終処分場量 (t)	112.38	—	—	—	—	—	—	112.38
割合 (%)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

(注1) 購入電力のCO₂排出係数は、東京電力の0.438kg-CO₂/kWh(2023年12月22日公表)を用いた。

13. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 環境経営計画の取組結果とその評価

【取組期間：2025年4月～2026年3月】

環境目標	環境活動の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門
		取組結果の総点数・数値結果等						
		取組の評価						
電気使用量の削減	照明の不必要な時・箇所を消灯	20点 ○	16点 △	22点 ○	24点 ○	21点 ○	24点 ○	
		実施出来ていた。						
	空調の適温化	16点 △	17点 ○	22点 ○	24点 ○	23点 ○	16点 △	
		熱中症対策として、クールスポット等の設置、猛暑日の期間等はエアコンの設定温度を低めに設定していたが、適切な温度管理で概ね実施出来ていた。また、あきる野積保がエアコン1台追加した為、来年度目標値の見直しをする。						
	OA機器の不必要な時の電源OFF	20点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○	21点 ○	24点 ○	
		実施出来ていた。						
	設備の空運転の防止			22点 ○	22点 ○			
		実施出来ていた。						
環境負荷低減教育	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	
	全事業所教育済み。							
目標数値評価	達成事業所は2カ所、未達成事業所は4カ所（本社、伊奈平工場、瑞穂積保、あきる野積保）。厳しめな目標値を設定しているが、本社、伊奈平工場、瑞穂積保は達成出来る範囲の為、来年度可能な限りの節電に努めること。あきる野積保は目標値より乖離しており、原因（休憩室の拡大）も判明している為、来年度目標値の見直しをする。全体で見ると、目標値より18,790kwh削減出来た。							
燃料使用量の削減	重機・車両のアイドリングストップ	20点 ○	19点 ○	22点 ○	24点 ○	22点 ○	22点 ○	22点 ○
		実施出来ていた。						
	積み込み作業時のアイドリングストップ	20点 ○	24点 ○					
		実施出来ていた。						
	パッカー車の無駄まき抑制	20点 ○	24点 ○					
		実施出来ていた。						
	急発進・急停車の抑制	17点 ○	24点 ○					
		概ね実施出来ていた。						
前年度車両燃費データと比較分析	16点 △	20点 ○						
	夏場の燃費数値が低迷。熱中症対策もあり車内を涼しく保っているが、急発進の抑制等違う部分のエコ運転を心掛けて、燃費向上に繋げてもらいたい。							
環境負荷低減教育・エコ運転教育	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	
	全事業所教育済み。							
目標数値評価	達成事業所は5カ所、未達成部門は2カ所（車両基地、あきる野積保）。全体で見ると、目標値より軽油23,305ℓ、ガソリン21ℓ削減出来た。							
水使用量の削減	散水時の節水			24点 ○	17点 ○	22点 ○	21点 ○	24点 ○
		実施出来ていた。						
	洗車時の節水	18点 ○	14点 △	24点 ○	24点 ○	24点 ○	24点 ○	
		概ね実施出来ていた。						
環境負荷低減の教育	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	実施済 ○	
	全事業所教育済み。							
目標数値評価	全事業所未達成（本社、車両基地、伊奈平工場、入間工場、あきる野積保）。厳しめな目標値を設定しているが、本社、車両基地、伊奈平工場は節水を心がければ達成出来る範囲だが、入間工場とあきる野積保は目標値より乖離しており、原因（粉じん対策／熱中症対策&散水増）も判明している為、来年度目標値の見直しをする。全体で見ると、目標値より上水311m³増加し、地下水は38m³削減出来た。							

環境目標	環境活動の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門
		取組結果の総点数・数値結果等						
		取組の評価						
化学物質の管理(注1)	自主基準値5ng-TEQ/m ³ Nを維持			未実施				
		2023年12月6日より焼却施設休止の為、測定未実施。						
本業に関する環境配慮活動	製品の状態の確認			○	○			
		製品状態も特に問題なし。						
	製品納品先からのクレーム発生件数の0件維持			○	○			
		クレーム件数も0件で、特に問題なし。						
	設備・重機・車両の突発的故障を低減する	○	○	○	○	○	○	
		全事業所決められた目標件数以内で、突発的故障を低減出来た。突発的故障が発生すると業務に支障が出る為、引き続き点検等を行い、しっかり維持管理に努めていく。						
	設備・重機・車両の日常・定期点検の実施	24点 ○	23点 ○	24点 ○	22点 ○	23点 ○	24点 ○	
		実施出来ていた。引き続き、設備・重機・車両の延命化に努めていく。						
	各事業所、決められた目標件数以上の業務改善を行う	×	○	○	○	○	○	
		達成事業所は5カ所、未達成部門は1カ所（本社）。業務改善を行う事で、業務効率化・生産性向上・労働環境改善・コスト削減等といった効果がある為、引き続き積極的に行っていく。						
廃棄物排出量の削減	各事業所、決められた目標値以下のごみの排出量を維持・削減	○	○	○	○	○	○	
		全事業所達成。廃棄物処理業者として、廃棄物の排出量を減らすことを意識し、再利用できる物は再利用したり、ペーパーレス化や電子化を行ったりし、ごみの排出量を低減出来るように引き続き努めていく。						
再資源化率の向上	中間処理後の産業廃棄物リサイクル率90%以上の達成			○				
		2025年度のリサイクル率は94.63%で、目標値達成。						
	リサイクル出来る廃棄物の選別状況の確認			22点 ○		20点 ○	21点 ○	21点 ○
		実施出来ていた。引き続き再資源化に努めていく。						
	積込作業時のリサイクル出来る廃棄物の仕分け積込み状況の確認		12点 △					
		概ね実施出来ていた。引き続き再資源化に努めていく。						
	解体工事に伴う廃棄物再資源化率90%以上を維持							○
		2025年度の再資源化率は92.71%で、目標値達成。						

（注 1）伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

評価方法：【○】 24点～17点：実施（達成）出来た

【△】 16点～9点：実施（達成）がある程度出来た

【×】 8～1点：実施（達成）出来なかった

(2) 次年度の取組内容

【取組期間：2026年4月～2027年3月】

環境経営目標	環境経営計画の具体的な取組	本社	車両基地	伊奈平工場	入間工場	瑞穂積保	あきる野積保	解体部門	進捗管理 及び記録
		大槻	松本	天沼	鈴木	神山	神山	天沼	
電気使用量の削減	照明の不必要な時・箇所を消灯	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
	空調の適温化	●	●	●	●	●	●		
	OA機器の不必要な時の電源OFF	●	●	●	●	●	●		
	設備の空運転の防止			●	●				
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●		教育記録
燃料使用量の削減	重機・車両のアイドリングストップ	●	●	●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	積込作業時のアイドリングストップ	●	●						
	パッカー車の無駄まき抑制	●	●						
	急発進・急停車の抑制	●	●						
	前年度の車両燃費データと比べた分析	●	●						
	環境負荷低減の教育・エコ運転の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
水使用量の削減	散水時の節水			●	●	●	●	●	実施計画と実績 フォローシート
	洗車時の節水	●	●	●	●	●	●		
	環境負荷低減の教育	●	●	●	●	●	●	●	教育記録
化学物質の管理 (注1)	自主基準値5ng-TEQ/㎡Nを維持			●					実施計画と実績 フォローシート
本業に関する 環境配慮活動	製品の状態の確認			●	●				
	製品納品先からのクレーム発生件数の 0件維持			●	●				
	設備・重機・車両の突発的故障を低減 する	●	●	●	●	●	●		
	設備・重機・車両の日常・定期点検の 実施	●	●	●	●	●	●		
	各事業所、決められた目標件数以上の 業務改善を行う	●	●	●	●	●	●		実施計画と実績 フォローシート
廃棄物排出量の削減	各事業所、決められた目標値以下の ごみの排出量を維持・削減	●	●	●	●	●	●		
再資源化率の向上	中間処理後の産業廃棄物リサイクル率 90%以上の達成			●					
	リサイクル出来る廃棄物の選別状況の 確認			●		●	●	●	
	積込作業時のリサイクル出来る廃棄物 の仕分積込状況の確認		●						
	解体工事に伴う廃棄物再資源化率 90%以上を維持							●	

(注 1) 伊奈平工場、焼却炉の排ガス中のダイオキシン類濃度を示す。

※●は、環境活動の取組の実施を示す。

14. 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2025年度環境法規制その他要求事項一覧	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
許可を有している各市町村の廃棄物に関する条例	○
ダイオキシン類対策特別措置法	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	○
大気汚染防止	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
悪臭防止法	○
消防法	○
火災予防条例	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	○
東京における自然の保護と回復に関する条例	○
東京都暴力団排除条例	○
特定家庭用機器再商品化法	○
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	○
貨物自動車運送事業法	○
貨物自動車運送事業輸送安全規則	○
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	○
石綿障害予防規則	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律	○

《 2025 年度環境法規制その他要求事項一覧表 》を用いて、2026 年 3 月 31 日に遵守状況を確認した結果、当社における法規制への違反はありませんでした。尚、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘及び関連する訴訟等は過去 3 年間ありません。

15. 代表者による全体評価と見直しの結果

項目	社長指示事項	
代表者による全体評価	廃棄物処理法や各種条例、消防法をはじめとする多岐にわたる法規制について、遵守状況に問題がないことを確認している。また、外部利害関係者からの3件の苦情・要望に対しても、すべて迅速かつ適切な処置を完了しており、良好なコミュニケーションが維持されている。 是正・予防処置に関しては、予防処置1件の実施および効果の確認が確実に完了しており、システムの継続的な改善が図られている。さらに、エコアクション21中間審査における改善事項（A指摘）3件についても適切に対応済みであり、指摘事項に対する改善は万全である。 全事業所をとりまとめた実績では一部に目標未達の部分が見られるものの、全体として着実な環境活動が実践されていると評価できる。未達部分のうち達成可能な範囲については、より一層環境活動を強化すること。一方、実績値と目標値に大きな乖離が見られる項目については明確な原因を把握しているため、実態に即した目標値の見直しを行うこと。 以上のことから、当社の環境経営システムは有効に機能していると判断する。引き続き、持続可能な環境経営の推進に努める。	
代表者による見直し	環境経営方針	現時点での見直しは不要とする
	環境経営目標	見直しを実施する
	環境経営計画	現時点での見直しは不要とする
	環境経営システム	現時点での見直しは不要とする
	実施体制	現時点での見直しは不要とする